

会誌「情報処理」

デジタルプラクティス **無料**

Newsstandで 購読ができる ようになりました！

会誌「情報処理」と「デジタルプラクティス」が
 Apple Newsstandで購読ができるようになりました！
 NewsstandはiPad, iPhone, iPod TouchなどのiOSに
 プリインストールされている本棚です。

学会誌
 日本初！



会誌

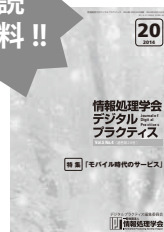
- 月単位の購入が可能です。
- 購入前に立ち読みができますので、ぜひいちどおためしください。
- 年間購読で12,800円（1冊あたり約1,000円）でお得です。
 1カ月：1,700円 / 6カ月：9,800円 / 1年：12,800円

DP

- 「デジタルプラクティス」は会員・非会員を問わず、どなたでも**無料**でお読みいただけます。
- DPアプリを一度ダウンロードすれば、最新号が自動で送られてきます。

年間購読
 でお得！！

購読
 無料！！



まわりの方にも
 ご紹介ください！

アプリのダウンロードはこちら（無料）

会誌「情報処理」



<https://itunes.apple.com/us/app/yue-kan-qing-bao-chu-li-qing/id910830137?l=ja&ls=1&mt=8>

デジタルプラクティス



<https://itunes.apple.com/jp/app/qing-bao-chu-li-xue-huidejitarupurakutisu/id923233022?mt=8>

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。巻頭コラム「漫画は正しさを求めません」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■異分野の人の執筆で興味深いのだが、情報処理との関係や示唆について触れてほしい。(匿名希望)

小特集「いまさら聞けない! コンピュータの数学」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■頭の体操にもってこいでした。定期的に行ってほしいです。(加藤雅彦)

「5. 情報系の大学数学カリキュラム」

■まとまった記事で、役に立った。(辻合秀一)

小特集「学会イベント支援」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■現代の超情報化してきた社会で、学会イベント等をコミュニケーションの場として活用・進化させていく問題意識に大変共感を覚えました。(安藤典浩)

「1. 学会イベントにおけるコミュニケーション促進の継続的实践」

■現時点で正解を出ることができていない多様なコミュニケーション接点において、最も現実的でさまざまな先進企業が実践している、市場に早く提供しフィードバックを重ねるポイントについて、分かりやすく解説されており良かった。今後は最適なフィードバックを得るためのシステム手法の明確化に取り組みられることを期待します。(生駒勝幸)

「2. 放送化の時代のプレゼンテーション支援システム」

■文章は簡潔に記述すべきである。(匿名希望)

「4. テレプレゼンスロボットによる遠隔学会参加の体験報告」

■能動的に遠隔コミュニケーションを行う試行例として興味深い。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：小学校での情報リテラシー教育を！」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■アナログとデジタルの融合は結構だと思うが、PC離れが進んでいる現状が気になった。(高橋雅彦)

■小学校からの情報リテラシー教育の必要性については私も賛成であり、さまざまな社会的問題が発生している現状においては改善が必要だと考えています。今回は、教育の現場で活躍されている方の執筆とのことなので、さらに踏み込んで、どのような具体的教育が必要と考えているか、個人的意見がかまわないので、具体的に示してほしい。(生駒勝幸)

教育コーナー「べた語義：情報科教員のための教員免許更新講習(前)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■教員免許更新講座には、インターネットでのオンライン講座は用意されていないのか疑問に思った。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：データベース実習を支援するツール sAccess (サクセス)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事ではなく紹介されているソフトウェアについての感想であるためここに書くのは心苦しいが、本当に sAccess がデータベース実習に適しているのか疑問が残った。(安井瑛男)

連載「ビプリオ・トーク:THINK LIKE ZUCK マーク・ザッカーバーグの思考法」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■専門知識を有する方による抜粋は、忙しい人にとって価値があると思う。(伊藤 誠)

連載「古機巡礼 / 二進伝心：微分解析機再生プロジェクト」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■微分解析機の原理に関する説明がない。2011年の会誌の関連記事があるので省略したものと思われるが、会誌の記事は読み切りの形にするのが良いと感じた。(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■女子部の記事楽しみにしています。がんばって続けてください。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■主に小特集2つの構成が良くなかった。小特集を企画した意図、動機、狙いといったものが見えず、同カテゴリ記事の集合になっているように見える。(伊藤 誠)

■今後取り上げてほしいテーマ：ディーブラーニング。(山根 智)

■短いもので良いので、英文の論説を掲載してはどうでしょうか?(水野光朗)

■センサ情報を利用する実ビジネス事例、技術的課題、法制度上の課題、倫理的課題をまとめた特集をお願いします。(西澤 格)

■固い内容は、論文集やデジタルプラクティスがあるので、会誌はできる限りキャッチーかつ平易な内容にしたほうがいいと思います。特に今回の数学系の特集は、取っ掛かりなしに読むには敷居が高いと感じました。(伊藤 誠)

■自分は怠惰な人間であるため、いつもなら自分の興味から外れた記事や自分にとって難解すぎると感じた記事は読み飛ばしてしまうこともあったかと思うが、今回モニタとしてご選出いただいたことですべての記事にある種の義務感を持って目を通すことができた。結果自分の知識や視野を広げられるきっかけになったと思う。ジュニア会員制度も含め、このような機会を与えていただいたことに感謝したい。(安井瑛男)

■夏に公表される特許庁アーキテクチャ標準仕様について評価・解説が欲しい。(高橋雅彦)

■情報分野の数学の特集はタイムリーで非常に興味がわいた。一方学会支援、プレゼンテーションに関する特集も興味がわいた。今、海外から20件以上の、基調講演を含む招待講演の依頼がある(国内からの講演依頼は皆無なので、これらに対応するためにも、自分の研究拠点を海外に移した方がいいのかもと思うことも多い)。とても全部は対応できないので、ほぼ全件をお断りせざるを得ない状況である。何件かビデオカンファレンスに切り替えた。今後は、ビデオカンファレンスも普及していくと思うので、その方面からの記述も欲しかった。(石井一夫)

■小中高のジュニア会員向けの記事も入れてはどうでしょうか。(大塚有希子)

■モニタになって、初めて隅から隅まで見ました。いつもいる研究会とは異なる新しい考え方や工夫を知ることができるのだな、と見直しました。また、評価用語が「良い」というのは、内容に「興味を持てた」とか「役に立った」という意味でつけていると思ってほしいです。表現とか分かりやすさとか別の評価項目があれば、別のつけ方をします。(高橋尚子)

■自分の研究にて、新たに取り入れようと検討していた複数の手法に関して、ちょうど特集が組まれ、詳しく解説されていたため、非常に役に立った。(宇田川海斗)

■いろんな内容の話があったため良かった。(中司泰佑)

■学会誌としては読みやすく一般の方にも勧められるようになりました。ご努力に感謝します。(五十嵐實子)

■スマートフォン、クラウド、ビッグデータ、グローバル化が進んでいる中で、コンシューマやエンタープライズでの、ICTコミュニケーションの研究動向について取り上げてほしい。(生駒勝幸)



【本欄担当 目黒豊美, 中川香織/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「音楽情報処理技術の進歩とその拡がり」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-K.html	7月31日(金)		
	デジタルプラクティス「オープンサービスイノベーション」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0702s.html	8月5日(水)		
	論文誌「社会に浸透する情報システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-V.html	8月11日(火)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2015」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-L.html	10月30日(金)		
	論文誌「社会の変革に挑戦するセキュリティ技術とプライバシー保護技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-R.html	11月27日(金)		
	論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム(V)」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-N.html	12月11日(金)		
7月15日(水)～ 7月16日(木)	第222回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl222.html	6月8日(月)	当日のみ	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス
7月15日(水)～ 7月16日(木)	第180回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics180.html	6月9日(火)	当日のみ	ホテルニュー種子島
7月16日(木)～ 7月17日(金)	第107回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp107.html	5月11日(月)	当日のみ	上諏訪温泉 かたくら諏訪湖ホテル
7月22日(水)	東海支部主催講演会 「医療における自然言語処理応用～ビッグデータからディープデータまで～」 http://www.ipsj-tokai.jp/			名古屋大学 東山キャンパス
7月22日(水)～ 7月24日(金)	第189回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se189.html	5月19日(火)	当日のみ	札幌市教育文化会館
7月27日(月)	第104回数値モデル化と問題解決研究発表会 http://daemon.inf.uec.ac.jp/MPSPortal/events/mps104cfp	4月7日(火)	当日のみ	Monte Carlo Resort (ラスベガス)
7月27日(月)～ 7月28日(火)	第46回ユビキタスコンピューティングシステム・第2回高齢社会デザイン合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi47asd2.html	6月5日(金)	当日のみ	立命館大学大阪 いばらきキャンパス
7月27日(月)～ 7月30日(木)	第18回画像の認識・理解シンポジウム http://cvim.ipsj.or.jp/MIRU2015/		当日可	ホテル阪急 エキスポパーク
7月31日(金)～ 8月1日(土)	第164回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci164.html	6月8日(月)		福江文化会館・会議室 (長崎県五島市)
8月3日(月)～ 8月4日(火)	第12回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.neteco.jp/symposium/201508/		定員になり次第	静岡県伊東市 山喜旅館
8月3日(月)～ 8月5日(水)	第89回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm89.html	6月1日(月)	当日のみ	首都大学東京 南大沢キャンパス
8月3日(月)～ 8月5日(水)	2015年度教員免許更新講習 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html		7月15日(水) 定員になり次第	東京大学駒場地区
8月4日(火)～ 8月5日(水)	第134回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 (SWoPP2015) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os134.html	5月15日(金)	当日のみ	ビーコンプラザ 別府国際 コンベンションセンター
8月4日(火)～ 8月6日(木)	第208回システム・アーキテクチャ研究発表会 (SWoPP2015) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc208.html	5月15日(金)	当日のみ	ビーコンプラザ 別府国際 コンベンションセンター
8月4日(火)～ 8月6日(木)	第150回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 (SWoPP2015) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc150.html	5月15日(金)	当日のみ	ビーコンプラザ 別府国際 コンベンションセンター
8月5日(水)～ 8月6日(木)	第105回プログラミング研究発表会 (SWoPP2015) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro105.html	5月15日(金)	当日のみ	ビーコンプラザ 別府国際 コンベンションセンター
8月5日(水)～ 8月6日(木)	第161回データベースシステム・第119回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs161ifat119.html	6月15日(月)	当日のみ	東大寺総合文化 センター
8月9日(日)	第107回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.jinmoncom.jp/index.php?開催情報%2F第107回	6月30日(火)	当日のみ	奈良大学
8月17日(月)～ 8月19日(水)	情報教育シンポジウム2015 (SSS2015) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2015		当日可	鳥取県 境港マリーナホテル
8月24日(月)～ 8月25日(火)	第62回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its62.html	6月22日(月)	当日のみ	稚内北星学園大学
8月26日(水)～ 8月28日(金)	The 10th International Workshop on Security (IWSEC2015) http://www.iwsec.org/2015/		当日可	東大寺総合文化センター 金鐘ホール
8月26日(水)～ 8月28日(金)	DA シンポジウム2015—システムとLSIの設計技術— http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2015.html	5月15日(金)	7月17日(金)	山代温泉 ゆのくに天祥
8月27日(木)～ 8月28日(金)	平成27年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.eeci.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月15日(月)		岩手県立大学
8月29日(土)	第160回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg160.html	6月15日(月)	当日のみ	東京工科大学 浦田キャンパス
9月3日(木)～ 9月4日(金)	第133回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is133.html	7月3日(金)	当日のみ	岩手県立大学 アイーナキャンパス
9月3日(木)～ 9月4日(金)	第90回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm90.html	7月10日(金)	当日のみ	関西大学 千里山キャンパス
9月7日(月)～ 9月9日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2015 (SES2015) http://ses.sigse.jp/2015/index.html	5月15日(金)		慶應義塾大学 日吉キャンパス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月10日(木)～ 9月11日(金)	第164回マルチメディア通信と分散処理・ 第69回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps164aip69.html	7月6日(月)	当日のみ	倉敷市芸文館
9月12日(土)～ 9月13日(日)	平成27年度電気関係学会北陸支部連合大会 http://jhes.etc.kanazawa-it.ac.jp/	7月21日(火)		金沢工業大学 扇が丘キャンパス
9月14日(月)～ 9月15日(火)	第198回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim198.html	7月7日(火)	当日のみ	愛媛大学
9月15日(火)～ 9月17日(木)	FIT2015 第14回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/		7月10日(金)	愛媛大学 城北キャンパス
9月25日(金)～ 9月26日(土)	第31回インターネットと運用技術・ 第15回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot31spt15.html	8月7日(金)	当日のみ	宮崎市民プラザ
9月26日(土)	平成27年度電気関係学会四国支部連合大会 http://www.sjcee.org/	7月31日(金)		高知工科大学香美キャンパス 教育研究棟A
9月26日(土)～ 9月27日(日)	平成27年度(第68回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月13日(月)	8月7日(金)	福岡大学
9月28日(月)	2015年度関西支部支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2015/	6月19日(金)		大阪大学 中之島センター
9月28日(月)	第154回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al154.html	7月21日(火)	当日のみ	九大西新プラザ
9月28日(月)～ 9月29日(火)	平成27年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 http://www.ieice.org/tokai/rengo2015/	7月15日(水)		名古屋工業大学
9月30日(水)	連続セミナー 2015 第3回「次世代ロボット技術の最新動向」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2015/		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
9月30日(水)～ 10月1日(木)	第151回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc151.html	7月30日(木)	当日のみ	沖縄産業支援センター
10月2日(金)～ 10月3日(土)	第96回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn96.html	7月31日(金)	当日のみ	高山市民文化会館 2F会議室
10月13日(火)	連続セミナー 2015 第4回「Deep Learningと人工知能」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2015/		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
10月21日(水)～ 10月23日(金)	組込みシステム シンポジウム 2015 http://www.sigemb.jp/ESS/2015/	6月29日(月)		早稲田大学
11月24日(火)	連続セミナー 2015 第5回「IoTが未来を創る：データ駆動型経済の夜明け」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2015/		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月18日(金)	連続セミナー 2015 第6回「人間中心インタフェース」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2015/		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月26日(土)～ 12月27日(日)	2015年度教員免許更新講習(冬) http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html		2015/7/16以降に 詳細案内予定	京都大学

2016年

1月18日(月)～ 1月20日(水)	Annual Meeting on Advanced Computing System and Infrastructure (ACSI2016) http://acsi.hpcc.jp/2016/			九州大学医学部 百年講堂
3月10日(木)～ 3月12日(土)	情報処理学会 第78回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/			慶應義塾大学 矢上キャンパス
3月11日(金)	国際AIプログラミングコンテスト SamurAICoding2015-16WorldFinal			慶應義塾大学 矢上キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月15日 人材募集情報 (Vol.56 No.7)
- 6月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.56 No.7)
- 6月15日 [プレスリリース] 2015年度認定情報技術者(CITP)個人認証の申請日程発表
- 6月12日 論文誌「社会に浸透する情報システム」特集 論文募集
- 6月8日 2015年度各種委員会名簿公開
- 6月4日 2015年度定時総会について
- 6月4日 会長就任にあたって
- 6月1日 コンピュータ博物館を更新しました
- 6月1日 認定情報技術者(CITP)個人認証の申請日程
- 5月28日 「世界最先端IT国家創造宣言」に対する意見

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■警視庁特別捜査官

- 募集人員** コンピュータ犯罪捜査官 警部補（4級職） 若干名
コンピュータ犯罪捜査官 巡査部長（3級職） 8名程度
- 専門分野** システム開発能力、ネットワーク構築能力、インターネット・セキュリティに関する専門的知識、データベースに関する知識等
- 担当分野** 各種ハイテク機器・情報の解析、サイバー犯罪の捜査、サイバー犯罪防止のためのセキュリティ対策等
- 応募資格** 警部補（4級職）：1976年4月3日から1989年4月2日までに生まれた方でシステムアナリスト、テクニカルエンジニア、システム監査技術者、技術士（情報工学部門）またはこれに相当する資格^{*1}を有し、かつ民間等における5年以上の有用な職歴を有する方
*1「これに相当する資格」とは、ITストラテジスト・システムアーキテクト・プロジェクトマネージャー・ネットワークスペシャリスト・データベーススペシャリスト・ITサービスマネージャー・上級システムアドミニストレータ・アプリケーションエンジニアなどを言う
巡査部長（3級職）：1981年4月3日から1991年4月2日までに生まれた方でソフトウェア開発技術者またはこれに相当する資格^{*2}を有し、かつ民間等における3年以上の有用な職歴を有する方
*2「これに相当する資格」とは、応用情報技術者・情報セキュリティスペシャリスト・情報セキュリティアドミニストレータなどを言う
- 着任時期** 合格者は、原則として2016年4月1日以降に、合格した種別・階級の警察官として採用します
- 提出書類** ダウンロードによるか郵送で採用センターから採用選考申込書を手した後、必要事項を記入して、応募期間内に郵送で申し込んでください。第1次選考通過者は、第2次選考当日に、受考資格に該当する経歴・資格を証明する書類を持参してください
- 応募期間** 2015年7月21日～8月14日（消印有効）
- 送付先/照会先** 〒183-8555 東京都府中市朝日町3-15-1 警視庁採用センター
Tel(03)3581-4321（代表）/（0120）314-372（フリーダイヤル）/（042）334-0131（直通）
- その他** 詳細は警視庁採用サイト（<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/saiyo/27/>）を参照ください

■慶應義塾大学理工学部情報工学科・開放環境科学専攻

- 募集人員** 助教 1名（有期：任期は単年度契約とし、双方の合意に基づき契約更新を行う。最長雇用期間は3年間までとする。ただし、特に優れた研究・教育業績を挙げた場合、再審査により任期終了後に専任教員として任用を行う可能性がある）
- 専門分野** 情報工学分野
- 応募資格** (1)博士学位を有する方、もしくは就任時までに取得見込みの方、(2)情報工学分野の中でも、特に、ヒューマンインタフェース、バーチャルリアリティ、インタラクティブシステムに関連した分野で近年、顕著な研究実績を挙げている方、(3)情報工学科の教員と協力しながら学部学生・大学院学生の研究を支援するとともに、自身の研究を精力的に推進できる方
- 着任時期** 2016年4月1日
- 応募締切** 2015年8月31日（必着）
- 送付先/照会先** 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部情報工学科 主任 天野英晴
E-mail: hunga@am.ics.keio.ac.jp
- その他** 詳細はWebページ（<http://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/18.html>）を参照

■日本大学工学部情報工学科

募集人員 (A)教授または准教授 1名, (B)教授または准教授 1名
 専門分野 (A)情報ネットワーク関連分野, (B)メディア情報関連分野
 応募資格 博士の学位を有し, 当該分野の教育・研究を担当できること
 着任時期 2016年4月1日
 提出書類 ①履歴書(連絡先とE-mailアドレスも明記), ②研究業績リスト(著書, 査読付き論文, 国際会議, 特許等に区分), ③主要論文別刷(5編程度, コピー可), ④これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), ⑤教育・研究に関する抱負(A4用紙1~2枚程度), ⑥本人に関する所見を求め得る人(2名)の氏名とその連絡先(所属, 住所, 電話, E-mailアドレス)
 応募締切 2015年8月31日(必着)
 照会先 工学部情報工学科 主任 若林裕之 E-mail: hwaka@cs.ce.nihon-u.ac.jp Tel(024)956-8836
 その他 詳細はWebページ(<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/joho/index.html>)をご覧ください

■東京理科大学理工学部電気電子情報工学科

募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 環境・エネルギー工学(燃料電池や発電機などの発電装置, 新エネルギー)
 応募資格 博士の学位を取得, または着任時までに取得見込みで, 関連分野の大学院生を指導できる方
 着任時期 2016年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(数点), 着任後の教育と研究に対する抱負(A4用紙2枚程度), 連絡先(住所, 電話・Fax番号, E-mailアドレス等), 応募者を照会可能な方2名の氏名と連絡先
 応募締切 2015年9月14日(必着)
 送付先 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学理工学部電気電子情報工学科 事務室
 照会先 電気電子情報工学科 主任 木村真一 E-mail: koubo-2016@ee.noda.tus.ac.jp Tel(04)7124-1501 (ext.3705)
 その他 詳細はWebページ(http://www.sut.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20150914_riko_ele_02.pdf)をご覧ください

■東京理科大学理工学部電気電子情報工学科

募集人員 嘱託助教 4名(任期:5年)
 専門分野 情報・通信・コンピュータ分野(画像情報工学・信号処理・光通信システム・光エレクトロニクス・無線通信システム)またはエネルギー・制御・環境分野(パワーエレクトロニクス・分散型電源)
 応募資格 博士の学位を取得, または着任時までに取得見込みで, 電気系基礎科目の演習と学生実験を担当できる方
 着任時期 2016年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(数点), 着任後の教育と研究に対する抱負(A4用紙2枚程度), 連絡先(住所, 電話・Fax番号, E-mailアドレス等), 応募者を照会可能な方2名の氏名と連絡先
 応募締切 2015年9月14日(必着)
 送付先 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学理工学部電気電子情報工学科 事務室
 照会先 電気電子情報工学科 主任 木村真一 E-mail: koubo-2016@ee.noda.tus.ac.jp Tel(04)7124-1501 (ext.3705)
 その他 詳細はWebページ(http://www.sut.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20150914_riko_ele_01.pdf)をご覧ください

■三重大学大学院工学研究科

募集人員 助教 1名(任期なし)
 所属 電気電子工学専攻 情報・通信システム工学講座
 専門分野 通信工学分野(無線伝送方式, 無線通信システム, 無線ネットワーク, 無線通信プロトコルに関する分野が望ましい)
 応募資格 着任時に博士の学位を有し, 大学院・学部の教育・研究指導が可能な方, 女性の応募を歓迎します
 着任時期 2015年12月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 2015年9月14日(必着)
 照会先 電気電子工学専攻 専攻長 平松和政 E-mail: hiramatu@elec.mie-u.ac.jp Tel(059)231-9694
 その他 詳細は本学Webページ(<http://www.mie-u.ac.jp/adoption/recruit.html>)を参照ください

■弘前大学大学院理工学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 電子情報工学コース(理工学部電子情報工学科併任)
 専門分野 情報システム工学関連分野(たとえば、コンピューティング、データベース、ヘルスケアなど)
 担当科目 「コンピューティング」, 「プログラミング演習II」, 「統計学の基礎」など
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 2016年1月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 2015年9月18日
 送付先/照会先 弘前大学大学院理工学研究科 電子情報工学コース長 小林康之
 E-mail: kobayashi.yasuyuki@eit.hirosaki-u.ac.jp Tel(0172)39-3638
 その他 提出書類など詳細は本校Webページ (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/14650.html>) を参照ください

■弘前大学大学院理工学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 電子情報工学コース(理工学部電子情報工学科併任)
 専門分野 組込みシステムに関する分野(特にLSI設計技術, アナログ回路・ベースバンド回路設計技術, スマート組込みシステム開発・応用等, ハードウェア実装に関連する分野が望ましい)
 担当科目 「電気回路」, 「電子回路演習」, 「組込みシステム実践演習」など
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 2016年4月1日
 応募締切 2015年10月16日
 送付先/照会先 弘前大学大学院理工学研究科 電子情報工学コース長 小林康之
 E-mail: kobayashi.yasuyuki@eit.hirosaki-u.ac.jp Tel(0172)39-3638
 その他 提出書類など詳細は本校Webページ (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/14650.html>) を参照ください

■鳥取大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 情報エレクトロニクス専攻知能情報工学講座
 専門分野 情報工学に関する分野, 特に知識情報処理分野(統計解析, 人工知能, 機械学習, 大規模コンテンツ分析, データマイニング, ソーシャルメディア分析など)
 担当科目 (大学院) 知識情報処理に関する科目, (学部) 数学, 情報等の基礎科目, および人工知能, 形式言語, 数値計算法, 技術英語, 電気情報系実験等の専門科目
 応募資格 (1) 博士の学位を有すること, (2) 上記の専門分野に関し, 十分な研究業績を有し, 学部および大学院の教育, 研究および専攻運営にも熱意があり, 大学院博士後期課程を担当できること
 着任時期 2016年4月1日(予定)
 提出書類 (1) 履歴書(様式1), (2) 教育歴(様式2), (3) 研究歴(様式3), (4) その他の活動歴(様式4), (5) 着任後の抱負(様式5), (6) 研究業績リスト(様式6-1), (7) 所見を伺える方の照会先(2名)または推薦状(2通)(様式7), (8) 主要査読付き学術論文別刷(5編程度, コピー可)
 応募締切 2015年10月30日(必着)
 送付先/照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻知能情報工学コース長 岩井儀雄 E-mail: iwai@ike.tottori-u.ac.jp Tel(0857)31-5624 Fax(0857)31-0879
 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留または宅配便 *原則として提出書類は返却しませんのでご了承ください
 その他 公募の詳細については, 必ずWebページ (<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>) を参照してください
 選考方法: 専攻内選考(1次: 書類審査, 2次: 面接(プレゼンテーションを含む))および研究科内選考
 鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します

FIT2015 第14回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2015Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/index.html>

主催：情報処理学会、電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ/ヒューマンコミュニケーショングループ
共催：国立大学法人 愛媛大学
協賛：公益財団法人 松山観光コンベンション協会、一般社団法人 愛媛県観光物産協会（予定）

情報処理学会と電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、来る2015年9月に第14回目を愛媛大学城北キャンパスで開催致します。開催当日も聴講参加受付を致しますので、皆様、どうぞ奮って御参加下さい。

聴講参加を御希望の皆様は、会場のFIT2015総受付（校友会館1F）にお越し頂き、受付手続きを頂きまして御参加下さい。

会期：2015年9月15日（火）～17日（木）
 会場：愛媛大学城北キャンパス（愛媛県松山市文京町3番）
 交通：松山空港から伊予鉄バスでJR松山駅、松山市駅で下車。
 JR松山駅から伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」または伊予鉄バス東西線「愛媛大学前」下車。
 松山市駅から伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車。
 ※お車（自家用車）での御来場は御遠慮下さい。

当日受付場所：校友会館1F
 当日受付時間：15日8:30-16:30/16日8:30-16:30/17日8:30-15:00

■聴講参加費（税込）

参加区分	参加費
正会員	12,000円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
非会員	24,000円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
学生	無料（プログラム・参加章）

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。
 会員：情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI）または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE）の個人会員に限りです。

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROMは付きません）。

社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

※船井業績賞受賞記念講演/地域を活かす、地域で活きるICT（イベント企画）はどなたでも聴講無料です。FIT2015総受付（校友会館1F）で受付をお願い致します。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格（税込）

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	60,000円	60,000円
講演論文集各分冊	13,000円	16,000円
DVD-ROM	9,000円	56,000円

※セットには、DVD-ROM、セットカバーが付きまます。

※DVD-ROM学割会場販売価格4,000円

※会期中も講演論文集、DVD-ROMの販売を致しますが残部のある限りとなりますのであらかじめ御了承下さい。

■講演論文集の内容（分野）

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録

（著者、所属、キーワードによる索引付き）

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ掲載

■懇親会

開催日時：9月16日（水）18:30～20:30

会場：リジェール松山（松山市駅より徒歩5分）

参加費：社会人 5,000円、学生 2,000円、
 一般講演座長または査読者 3,000円

■開催イベント企画（詳細はFIT2015Webサイトを御覧下さい）

[招待講演企画・表彰式]

◆船井業績賞受賞記念講演

16日14:00-15:15 第1イベント会場

『Efficiency and Programmability: The Challenges of Future Computing』

William James Dally

Professor (Research) of EE and CS, Stanford University
 Chief Scientist and Senior Vice President of Research, NVIDIA Corporation

◆FIT学術賞表彰式

16日13:00-13:50 第1イベント会場

[イベント企画] ◎は聴講無料

第1イベント会場

15日 13:00-15:00 ◎地域を活かす、地域で活きるICT

15:30-17:30 地方における実践的人材育成

16日 13:00-13:50 FIT学術賞表彰式

14:00-15:15 ◎船井業績賞受賞記念講演

15:30-17:30 今日からあなたもビッグデータ活用者
 ～ビッグオープンデータ、クラウドサービスの波に乗れ～

17日 09:30-12:00 医療用ソフトウェアの最新動向：高信頼設計、法規制、および、ビジネス展開

第2イベント会場

15日 09:30-12:00 スマートデバイスやクラウドを用いた教育・学習インフラとその活用技術

13:00-15:00 ITによって教育はどのように変わるか？

15:30-17:30 学術研究におけるビッグデータの安全な活用はどこまで可能か？：日本の研究力の飛躍的向上に向けて

16日 09:30-12:00 新世代XXX乗っ取り作戦

15:30-17:30 災害コミュニケーションとその課題

17日 09:30-12:00 第6回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト

The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション予選

13:00-16:00 第6回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト

The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション本選

第3イベント会場

15日 09:30-12:00 シンギュラリティ問題が社会に与える影響

13:00-15:00 サイバーワールドの10年-これまでと今後の展望-

16日 09:30-12:00 人工知能のため標準問題としてのゲーム研究

15:30-17:30 オノマトペ活用技術の最前線

17日 09:30-12:00 ビッグデータ解析のための機械学習技術

■次年度のFIT2016開催

2016年9月7日（水）～9日（金）富山大学（予定）

■問い合わせ（FIT2015幹事学会）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F

一般社団法人 情報処理学会 事業部門

TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375

E-mail: jigyo@ipsj.or.jp



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.56 No.7 (July 2015)



【一般論文】

- A Method for Navigating Cars in Multilevel Parking Facility*
Weihua Sun 他
- Improving the Performance of the DBM Algorithm via Outlier Detection*
Yuya Kaneda 他
- Hexomino 解総数推定の解析と改善の提案
寺田 実

- ソーシャルネットワークにおけるクチコミに対するインセンティブ報酬を用いた行動促進手法
田仲理恵 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (July 2015)

【論文誌 プログラミング Vol.8 No.2】

- Design and Implementation of a Java Bytecode Manipulation Library for Clojure
Seiji Umatani 他



【Transactions on Bioinformatics Vol.8】

- Application for evaluating and visualising sequence conservation of ligand binding sites
Nobuaki Yasuo 他



【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.8 No.2】

- 不動産投資における市場リスクのファクターモデル
石島 博 他
- アソシエーションルールを用いた推薦システムにおける精度と意外性の向上
伊藤寛明 他
- An exhaustive search and stability of sparse estimation for feature selection problem
Kenji Nagata 他
- 差分プライベート弱学習器の統合
南賢太郎 他
- ソーシャルメディアでの信頼ネットワーク進化における媒介者アクティビティ効果の分析
八田圭斗 他
- 非正社員を主力とするスタッフスケジューリング
徳永拓真 他
- 特徴的部分系列に基づく系列データの判別分析
須賀佑太郎 他
- GPにおける頻出構造に着目した複合的ブロード抑制戦略
小野景子 他



【論文誌 コンピューティングシステム Vol.8 No.3】

- Relaxing Heavy Congestion by State Propagation
Takashi Yokota 他

- 実対称行列のブロック鏡映変換を用いた ブロック三重対角化の OpenMP による並列化の実験
村上 弘



【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.7】

- Image Denoising with Sparsity Distillation
Satoshi Kawata 他
- Fast and accurate object detection based on binary co-occurrence features
Mitsuru Ambai 他
- Rail Sensor: A Moving Lidar System for 3D Archiving the Bas-reliefs in Angkor Wat
Bo Zheng 他
- Audio-Visual Speech Recognition Using Convolutional Bottleneck Networks for a Person with Severe Hearing Loss
Yuki Takashima 他
- Mahalanobis Encodings for Visual Categorization
Tomoki Matsuzawa 他
- Individuality-preserving Silhouette Extraction for Gait Recognition
Yasushi Makihara 他
- Automatic Martian Dust Storm Detection from Multiple Wavelength Data Based on Decision Level Fusion
Keisuke Maeda 他
- Robust feature matching for distorted projection by spherical cameras
Hajime Taira 他
- Rectification of Aerial 3D Laser Scans via Line-based Registration to Ground Model
Ryoichi Ishikawa 他
- Depth-based Gait Authentication for Practical Sensor Settings
Taro Ikeda 他
- Cost-Alleviative Learning for Deep Convolutional Neural Network based Facial Part Labeling
Takayoshi Yamashita 他





デジタルプラクティス掲載論文リスト

Vol.6 No.3 (July 2015)

【特集：ビッグデータ分析をビジネスに活かす】

【特集号招待論文】

- 「データ分析と意思決定の狭間」とそれを埋める力 河本 薫
- アナリティクスで継続して成果を生み出す仕組み 山田 敦
- 分析プロセス自動化・標準化への挑戦—実践に基づく考察—
藤巻遼平 他
- インバリエント分析技術の大規模物理システムへの適用—原子
力発電所の監視への適用を例に— 梶田昌尚 他
- ウェアラブルセンサ「ビジネス顕微鏡」を用いた軽作業生産性向
上施策の定量評価 佐藤信夫 他
- データサイエンティスト育成と人材利活用のベスト・プラクティス
丸山 宏 他

■ 《パネル討論》ビッグデータ分析をビジネスに活かす

河本 薫氏、本橋洋介氏、佐藤満紀氏、石井一夫氏

【一般投稿論文】

- ソースコード解析に関する実践—公的年金財政検証プログラムの
解析と応用— 石田朗大 他



IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 25,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円（税込 54,000 円）※3 社限定
フッタ：1 回 20,000 円（税込 21,600 円）
※ それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13：00～17：00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

CONTENTS

Preface

Doctor, Patient and Internet Technology
Shinji AKITOMI (National Defense Medical College)

Special Features

Future in Those Days

- 731 **0. Foreword**
Akira KANAOKA (Toho Univ.)
- 732 **1. Wonder of Lost Wonder - A Logic Named Joe -**
Itaru KANEKO (Tokyo Polytechnic Univ.)
- 734 **2. Say Goodbye to Your Stale Futures - Neuromancer -**
Jun REKIMOTO (The Univ. of Tokyo)
- 736 **3. What Distinguishes Humans from Androids? - Blade Runner -**
Itaru NISHIZAWA (Hitachi, Ltd.)
- 738 **4. Dream and Harmful Intent of Blade Runner - Blade Runner -**
Michio SONODA (IPA / Cyber Univ. / Chuo Univ.)
- 740 **5. Cyberpunk Penetrates the World - THE GHOST IN THE SHELL -**
Daisuke INOUE (National Institute of Information and Communications Technology)
- 742 **6. Dystopia without Entirely Privacy - 1984 -**
Masahiko TAKENAKA (Fujitsu Labs. Ltd.)
- 744 **7. Does Science Discriminate against Person? - GATTACA -**
Tetsushi OHKI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 746 **8. The Future Video Technique in the 1980s - Back to the Future Part II -**
Hiroaki SAWANO (Aichi Institute of Technology)
- 748 **9. Computer-like Computer - Hogan "The Genesis Machine" -**
Kentaro FUKUCHI (Meiji Univ.)
- 750 **10. Minority Report : Breaking the Edge of Computer Ethics - Minority Report -**
Takeo TATSUMI (The Open Univ. of Japan)
- 753 **11. Up to the Singularity of Artificial Intelligence - 2001 : A Space Odyssey -**
Yasunari HARADA (Waseda Univ.)
- 756 **12. "I'm Conducting a Survey on Male Preferences in Christmas Gifts" - "Simulacron-3" by D. F. Galouye -**
Yuji AYATSUKA (Information Services International-Dentsu, Ltd.)

Special Features

How to Make Space Systems

- 759 **0. Foreword**
Satoshi HARAUCHI (Mitsubishi Electric Corp.)
- 760 **1. Information Technology will Change the Way of Space Systems Development**
Takahiro YAMADA (Japan Aerospace Exploration Agency / Institute of Space and Astronautical Science)
- 764 **2. Development Process of Space Systems - with Application Example of "KOUNOTORI" -**
Seiko SHIRASAKA (Keio Univ.)
- 768 **3. How to Make Software in Space**
Minoru YOSHIDA (Mitsubishi Electric Corp.)
- 772 **4. Development of Launch Control System - Cace of EpsilonRocket for Small Satellites -**
Kenichi HIROSE (Japan Aerospace Exploration Agency)
- 777 **5. How to Develop a Data-driven Health Monitoring System for Artificial Satellite**
Takehisa YAIRI (The Univ. of Tokyo)
- 781 **6. Introduction of Standard Satellite Bus Systems**
Akira KAWAGUCHI and Azusa MUTA (NEC Corp.)

Reports : The 2014 IPSJ Best Paper Award

- 785 **Foreword**
Kentaro INUI (Tohoku Univ.)
- 785 **Information Science for Practical Problem**
Hirozumi YAMAGUCHI (Osaka Univ.)
- 786 **Thinking about a Creation by Human and Machine**
Junichi YAMAOKA (Japan Society for the Promotion of Science) and Yasuaki KAKEHI (Keio Univ.)
- 787 **Attempt to Judge the Authenticity of Valuable Pottery and Porcelain Products Mechanically**
Masaki FUJIKAWA (ALSOK)
- 787 **Gapped Code Clone Detection**
Hiroaki MURAKAMI (Osaka Univ.)
- 788 **Toward High Performance Machine Translation - Breakaway from Existing POS Tags -**
Akihiro TAMURA (National Institute of Information and Communications Technology)
- 789 **Opportunistic Collection of Disaster Information**
Jovilyn Therese B. FAJARDO (Nagoya Univ.)
- 790 **Toward Application of Theorem Proving to Railway Signalling**
Natsuki TERADA (Railway Technical Research Institute)
- 791 **Start from Zero**
Kentaro SASAKI (DENSO WAVE Inc.)
- 791 **Towards a More "Useful" Database Technology**
Yuto HAYAMIZU (The Univ. of Tokyo)
- 792 **Towards Operating System Support for Non-Volatile Memory**
Shuichi OIKAWA (Univ. of Tsukuba)
- 793 **Real-time Video Mosaicing using Non-rigid Registration**
Rafael Henrique Castanheira de SOUZA (DMP Ltd.), Masatoshi OKUTOMI and Akihiko TORII (Tokyo Institute of Technology)

Reports : The 2014 IPSJ Nagao Special Researcher Award

- 794 **Foreword**
Hideyuki TOKUDA (Keio Univ.)
- 795 **Keep Making the Nice Applications Necessary for the Future Comfortable Life**
Yutaka ARAKAWA (Nara Institute of Science and Technology)
- 795 **Research and Development of Biometric Security Technologies for a Secure, Safe and Comfortable Society**
Kenta TAKAHASHI (Hitachi, Ltd.)
- 796 **Bonanza : The Spectacular Windfall**
Kunihito HOKI (Graduate School of Informatics and Engineering / The Univ. of Electro-Communications)

Reports : The 2014 IPSJ Kiyasu Special Industrial Achievement Award

- 797 **Foreword**
Toshiyuki NAKATA (The Univ. of Tokyo)
- 798 **New and Old Challenges in Identity and Access Management Through Web, Cloud, IoT and Beyond**
Kenji TAKAHASHI (NTT Innovation Institute, Inc.), Kuniaki NAOI (NTT Software Innovation Center), Hiroshi KUMETA, Yan LI and Ichiro NAGANO (NTT Software Corp.)
- 798 **Research and Development of Secure OS with OSS Community**
Yuichi NAKAMURA (Hitachi, Ltd.), Kohei KAIGAI (NEC Corp.), Toshiharu HARADA, Tetsuo HANDA (NTT DATA Intellilink Corp.) and Toshihiro YAMAUCHI (Okayama Univ.)
- 799 **Mobile Spatial Statistics : Cellular Network-Based Population Census Providing New Insights on Hourly Population Dynamics**
Takayasu YAMAGUCHI, Motonari KOBAYASHI (NTT DOCOMO, Inc.) and Toshihiro SUZUKI (DOCOMO InsightMarketing, Inc.)

<p>800 A Change in Thinking for Robot Technologies Being based on an Understanding of Human Works Yukiyasu DOMAE, Haruhisa OKUDA, Tatsuya NAGATANI, Kenichi TANAKA and Masahiro FUJITA (Mitsubishi Electric Corp.)</p> <p>Senior Column : Messages on Favorite IT</p> <p>801 Invention and Achievement in Center for Information Processing Naomi FUJIMURA (Kyushu Univ.)</p> <p>"Peta-gogy" for Future</p> <p>805 The Current Status of TENTO and Other Programming Schools for Kids Akira TAKEBAYASHI (TENTO Inc.)</p>	<p>806 Computer Education and Statistics Education Haruhiko OKUMURA (Mie Univ.)</p> <hr/> <p>802 Activities of IPSJ - Special Reports by the Female Team of IPSJ Magazine -</p> <p>810 Biblio Talk</p> <p>812 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine</p>
---	--

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 論文誌 (デジタルプラクティス), 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル/トランザクション/JIP) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 国際会議, IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

会誌「情報処理」57巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。

・描画手法は問いません。

・「情報処理」の題字、巻号、法定文字等必要項目は現会誌をご覧ください。

※ 記事タイトルについて：現状（56巻）は特集のみの掲載ですが、57巻は解説等主要記事についても明記する予定です。それを踏まえてのデザインをお願いいたします。

・簡単なデザインコンセプトを添えてください。

・応募資格は問いません。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。

・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。

・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。

・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2015年11月5日（木）（必着）

結果通知 2015年11月下旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

年会費
無料

ジュニア会員 3つのメリット!!

皆さんの入会
お待ちしております!



あの人気の学会誌が 読める!

面白くてためになる
情報処理学会の
月刊誌「情報処理」を
オンラインで閲覧できます

興味のあるトピックを もっと学べる!

幅広いトピックをカバーする
39種類の研究会から
一つ選んで
論文閲覧・講演聴講できます

学会のイベントに 参加しやすくなる!

学会主催イベント等に
学生会員価格で
参加できます

小中高校生、大学学部 1~3 年生の皆さん、
是非この機会に情報処理学会の無料の会員になりませんか?

♣ どうすれば入会できますか?

下記のジュニア会員専用の入会申込フォームで、オンラインで登録が完了します。

<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai-junior2015.html>

未成年の方は、指導教員あるいは保護者の氏名欄にもご記入ください。

♣ 何年生まで申し込みできますか?

対象者は、下記の通りです。2015年4月の学年でご判断ください。

- ・小中高校生
- ・大学学部3年生以下
- ・高等専門学校専攻科1年生以下
- ・短期大学生
- ・専門学校生

※ただし、以前「正会員」にご入会いただいている方はこの制度をご利用いただけません。

♣ いつまでに申し込みが必要ですか?

2015年10月31日(土)まで

上記は2015年度の申し込み期限です。申込者多数の場合には、先着順で入会承認までにひと月程度お待ちいただく場合がありますので、お早めにお申し込みください。

2016年度には、さらに無料で閲覧できる範囲を拡大して本格的に開始予定です。ご期待ください。

詳細情報 (情報処理学会会員の皆様、指導教員の皆様、保護者の皆様へ)

●2015年度ジュニア会員制度(試行)の概要

情報処理学会では、2015年度から「ジュニア会員制度(試行)」を実施いたします。

若い世代の学生の皆様に、学会のコンテンツに触れてもらえる機会を増やすことで、学生の皆様のステップアップに繋げていただきたくと共に、学術と産業の発展に貢献できればと考えて、この制度を始めることにしました。

ジュニア会員は会費が無料となっております。該当される学生の皆様に、是非この制度をご紹介いただきたく、どうぞよろしく願いたします。

●ジュニア会員のサービス内容

- ・会費が無料です。
- ・4月現在で、大学学部3年生以下の学生の方が入会申込いただけます。
- ・創刊号から最新号まですべての「情報処理」(月刊)を電子図書館で閲覧できます。紙の冊子での配布はありません。
- ・その他のサービスは、「学生会員」と同じです。

【参考】学生会員サービス

<http://www.ipsj.or.jp/member/service-gakusei.html>

※ジュニア会員制度は試行中のため、サービス内容が変更となる場合がございますがご了承ください。

●会員資格の有効期間と会員継続方法

- ・会員証に記載する会員種別は、「学生会員ジュニア」となります。
- ・会員資格の有効期間：2015年度の入会日から年度末(2016年3月31日)まで
- ・学生(証)の確認をさせて頂く場合がございますので予めご了承ください。
- ・会員継続方法：2015年11月上旬に、電子メールで会員継続意思確認のご連絡をさせていただきますので、回答フォームより11月末までにご回答をお願い致します。期日までにご回答を頂けない場合には会員継続のご意思がないものと判断させていただき、年度末をもって退会とさせていただきます。
- ・2016年4月に対象者でなくなって有料会員に移行する方には、2016年度の会費支払いのご案内を2016年1月頃にお送りします。会員継続を希望しない場合には、その時点で退会申し込みをすれば支払う必要はありません。

▼詳しくはWebをご確認ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/junior-try2015.html>



◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページ または1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	50,000円(税込54,000円)
			1/2ページ	30,000円(税込32,400円)
			1/4ページ	20,000円(税込21,600円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000円(税込21,600円)
			賛助会員（企業）	30,000円(税込32,400円)
			賛助会員以外の企業	50,000円(税込54,000円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円(税込4,320円)で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
カタログ同封
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
約17.5円!

基本価格 350,000円
(税込 378,000円)

対象：全会員 20,000通 配布
(正会員/名誉会員/学生会員/賛助会員)

大学や
共催事業は
さらに割引も!

大学/研究所/賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学/研究所/賛助会員
(基本価格の40% Off!) **210,000円**
(税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業*
(基本価格の80% Off!) **70,000円**
(税込 75,600円)

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）
用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

問合せ先

【広告代理店】アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) 学生（ジュニア会員） (k) その他…………… 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ…………… 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 9- []
- (10) 今月号（2015年8月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

巻頭コラム：医者と患者とIT……………	10-1- []
特集：あのころの未来	
1. 不自然さがなく驚異……………	10-2- []
2. 古くさい未来とはおさらばだ……………	10-3- []
3. ヒトとアンドロイドを分かちつものとは？……………	10-4- []
4. ブレードランナーの夢と悪意……………	10-5- []
5. 融合する世界……………	10-6- []
6. プライバシーを喪失したデストピア……………	10-7- []
7. 科学は人を差別するか……………	10-8- []
8. 1980年代の未来の映像技術……………	10-9- []
9. コンピュータらしいコンピュータ……………	10-10- []
10. マイノリティ・レポートで情報倫理の限界を試せ……………	10-11- []
11. 人工知能の特異点を遡って……………	10-12- []
12. 「男性が好むクリスマス・ギフトを調査しています」……………	10-13- []
小特集：宇宙システムのつくりかた	
1. 情報技術によって変わる宇宙システムのつくりかた……………	10-14- []
2. 宇宙システムの開発プロセス……………	10-15- []
3. 宇宙で動くソフトウェアのつくりかた……………	10-16- []
4. 打上げ管制システムのつくりかた……………	10-17- []
5. 衛星の状態監視システムのつくりかた……………	10-18- []
6. 衛星の標準パスのつくりかた……………	10-19- []
2014年度論文賞の受賞論文紹介……………	10-20- []
2014年度長尾真記念特別賞紹介……………	10-21- []
2014年度喜安記念業績賞紹介……………	10-22- []
IT好き放題：情報処理センターにおける創意工夫と論文化……………	10-23- []
女子部が行く！—学会探訪記—第1回 会誌編集委員会……………	10-24- []
べた語義：「その後」のTENTOとプログラミングスクールの現在……………	10-25- []
べた語義：情報教育と統計教育No.2 手順的な自動処理と機械可読データ……………	10-26- []
ピブリオ・トーク：キャズムVer.2 [増補改訂版] 新商品をブレイクさせる「超」マーケティング理論……………	10-27- []
会誌編集委員会女子部……………	10-28- []

[11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事…………… 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []

[11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

[12-1] 良くなかった記事 …………… 12-1- []

[12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 …………… 12-2- []

[12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 12-3- []

a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

[13-1] あこのころの未来：a) 専門家 b) 非専門家 …………… 13-1- []

[13-2] 宇宙システムのつくりかた：a) 専門家 b) 非専門家 …………… 13-1- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

次号（9月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「小特集」ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング研究の最新動向

インタラクション理解 of/by/for ユビキタス/ウェアラブル・コンピューティング/加速度センサだけじゃない！ これからのウェアラブル行動認識/ヒューマンプロブ：人をセンサとして使う/都市空間センシング技術とその応用/ユビキタス&ウェアラブルのためのユーザインタフェース動向/いよいよ本気でユビキタスヘルスケア/ユビキタス&ウェアラブルのルーツは日本にあった！？—独創的研究を埋もれさせないためには—/屋内測位の基幹技術としての歩行者デッドレコニング

「小特集」クラウドソーシングの現状と可能性

オープンデータとクラウドソーシングの可能性/マイクロタスク型クラウドソーシングサービスの現状と課題/クラウドセンシングの研究動向/情報処理学会第77回全国大会「パネル討論 クラウドソーシング研究のディシプリンとは？～クラウドソーシング研究のさらなる展開に向けて～」報告

特別解説：いまさら聞けないマイナンバー～IT技術者が常識として知っているべきこと～

報告：未踏の第21期スーパークリエイターたち

トピックス：研究会推薦博士論文速報

学会活動報告：情報技術の国際標準化と日本の対応—2014年度の情報規格調査会の活動—

教育コーナー：ぺた語義

連載：ビブリオ・トーク/女子部が行く！/会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム/シニアコラム：IT好き放題

会議レポート：ICSE2015参加報告/音声音響信号処理の国際会議参加報告—IEEE ICASSP2015 at Brisbane—

この特集は、8月号という夏休みまっただ中の号でしたので、若い学生のみなさんが楽しめるような内容にすることを目指して企画したものでした。読者に若い学生のみなさんを想定しているため、平易な記述を心掛けるべきだと考え、それを執筆者にも伝えたのですが、覚えているのか覚えていないのか知ってか知らずか、それぞれが平易な記述を無視したかのような文章を仕上げてくださいました。ただその文章が持つ熱さ、そして伝わってくる面白さは素晴らしく、これは極力手を触れないほうがいい、この熱さをそのまま伝えたほうがいいのかという判断をしました。判断をした後、あらためて何度も読み

返すうちに「これは、SF好きなみなさんにとっては、すごく丁寧に『平易な記述』をしてくれているのでは…。本当に書きたいのはもっと深い話なのでは…」と思うようになり、やはりその判断は正しかったとそれぞれの執筆者の方々の深慮遠謀を垣間見たものでした。みなさんもぜひ2度3度と読み直してみてください。そこに書かれているもの、書かれていない熱いものをいろいろと感ずることができると思います。

(金岡 晃/本特集エディタ)

宇宙という関係で、今回ゲストエディタを務めさせていただきました。宇宙の中での情報処理は、我々の生活のさまざまなシーンで使用されている反面、一般の方への認知度は低く、今回の特集は広く知っていただくいい機会でした。2回目となる今月号は、衛星や地上システムをどうつくるかという観点からまとめさせていただきましたが、宇宙システムの特徴や雰囲気を掴んでいただけたでしょうか。特集企画時では大学の先生のご意見を参考に、「イプシロンロケット」や「こうのとりのり」など、なるべく最近話題に上がった宇宙システムからピックアップしました。ただ、調査を行っていくうちに、実は想定した情報技術が使われていなかったり、実はそのソフトウェアは日本ではなくNASAがつくっていたりと、アイテムを組むの

に苦労しました。一方、懸念していた宇宙環境などの宇宙特有の問題や略語については、編集委員を中心としたチェックのおかげで、一般の方にも理解できる記事になったのではないかと思います。この場をお借りして著者の方々と編集委員に御礼申し上げます。次回の宇宙特集はどのようなものになるでしょうか。どこかの惑星の解明に情報技術が役立った話が出てくるかもしれません。情報技術により災害監視が大きく発展した話なども出てくるかもしれません。どうぞお楽しみに。本特集を通じて、宇宙に携わる情報処理関係者が増えるとともに、夢を与える宇宙システムが深化するのを願ってやみません。

(原内 聡/本小特集ゲストエディタ)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約120名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」56巻8号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …… 表2 日立製作所 …… 表4
 オーム社 …… 表2対向 ヤフー …… 表3
 とめ研究所 …… 前付最終上
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも

各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

**MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better

三菱電機 (株)

 **CyberAgent**

(株) サイバーエージェント

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

 **RECRUIT**

(株) リクルートホールディングス

Google™

グーグル (株)

 **GREE**

グリー (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

 **NTT**

日本電信電話 (株)

 **Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT data

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)



情報サービス産業協会



NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

 **FORUM 8**

(株) フォーラムエイト